

美原 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1組：） （2組：） （3組：） （4組：） （5組：）

使用教科書： （ 教育芸術社「MOUSA 1」 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標： 音楽を愛好する心情を育て、生涯学習及び、進路実現につながる知識・技能の習得をする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑 賞					
1 学 期	○歌唱 ・基本的な姿勢・呼吸法・発声法を身に付け、楽曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う	・基本的な歌唱の姿勢、呼吸、発声法 ・校歌 ・日本歌曲	○			○	【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現に必要な、基本的な姿勢・呼吸法・発声法が身についているか 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協同的に取り組もうとしている	○	○	○	7
	○ボディーパーカッション ・リズムの特徴を感じとり、強弱や音色・テクスチュアを意識して創意工夫してリズムアンサンブルを楽しむ	・ボディーパーカッションによる表現効果 ・楽曲の共通イメージをもち、表現を創意工夫してリズムアンサンブルする		○		○	【知識及び技能】 リズムを正確に読んだり記したりするなど、表現に生かすために必要な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 身体をどのように用いると効果的な音色が得られるのかを想像し、よりよいアンサンブルにしようとする表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 身体を効果的に用いて音色を工夫しながら、イメージをもって主体的にアンサンブルに取り組もうとしている	○	○	○	7
	○鑑賞 ・声や様々な楽器によって生み出される響きを聴くとともに、文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する	・声や様々な楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり ・音楽を形づくっている要素の知覚と、それらの働きの感受 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の効果				○	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素やその表現上の効果、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じとり、楽曲のよさや美しさを創造的に味わって聴いている 【学びに向かう力、人間性等】 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心をもち、主体的・協同的に取り組もうとしている	○	○	○	6
	○楽典・ソルフェージュ ・楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方について理解し、演奏に生かす	・楽譜の構造 ・音名、音部記号 ・変化記号、調号や臨時記号 ・音価 ・反復記号 ・楽譜の書き方 ・リズム・聴音 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 創意工夫を生かした音楽表現するために必要な知識・技能を身につけている 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現する上で必要な知識・技能に関心をもち、主体的・協同的に取り組もうとしている	○		○	4

2 学 期	○歌唱 ・発音の特徴や、リズムや旋律との関わりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌う	・日本歌曲 ・イタリア歌曲 ・ドイツリート 等	○	○	【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 様々な言葉の楽曲の歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協同的に取り組もうとしている	○	○	○	8
	○ギター ・ギターの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏できるようにする	・ギターの基本的な奏法 ・ギターの音色や奏法の特徴 ・音色、リズム、旋律、強弱等、 音楽を形づくっている要素の知覚とそれらの働きの感受	○	○	【知識及び技能】 ギターの基本的な奏法を理解し、ギターの音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて、創造的に表現している 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、ギターの音色や奏法の特徴を生かして表現を工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ギターの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的・協同的に取り組もうとしている	○	○	○	8
	○創作 ・音階を選んで旋律をつくり、それにもう一つの旋律をつくって重ねる	・五音音階の種類と楽曲の特徴 ・旋律創作の手順と方法 ・副次的な旋律の重ね方	○	○	【知識及び技能】 ・五音音階について理解している ・旋律創作の手順と方法について理解し、創作する技術を身につけている 【思考力、判断力、表現力等】 五音音階の特徴を理解し、自分のつくりたいイメージに合う音階を選んで旋律をつくることについて、表現意図をもって創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 五音音階に関心をもち、自分のつくりたいイメージに合う音階を選んで旋律をつくることに主体的に取り組んでいる	○	○	○	6
	○楽典・ソルフエージュ ・楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方について理解し、演奏に生かす	・音程 ・音階 ・調 ・和音 ・リズム・聴音 等	○	○	○	○	○	○	4
3 学 期	○器楽 ・各パートの役割やハーモニーを意識し、表現を工夫してアンサンブルする喜びを味わう	・器楽アンサンブル ・各パートの音の重なり方や全体の調和 ・楽曲にふさわしい表現方法	○	○	【知識及び技能】 各パートの役割や音の重なり方などを知覚し、全体の調和を意識しながら表現するために必要な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 各パートの役割や音の重なり方などを感じとり、全体の調和を意識しながらどのように歌うかについて表現意図をもっている	○	○	○	10
	○歌唱 ・各パートの役割やハーモニーを意識し、表現を工夫して合唱する喜びを味わう	・合唱曲 ・各パートの音の重なり方や全体の調和 ・曲想と歌詞の内容との関わり	○	○	【知識及び技能】 曲想と歌詞の内容が表す情景や心情との関わりを感じとり、それらを生かして表現するために必要な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と歌詞の内容が表す情景や心情との関わりを感じとり、楽曲にふさわしい合唱になるよう工夫し、どのように歌うか表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心をもち、共通のイメージをもって楽曲にふさわしい合唱やアンサンブルをする学習に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	10 合 計 70